



—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療
先進医療の推進
良き歯科医師の育成

発行責任者 病院長 馬場 一美
編集責任者 広報委員長 丸岡 靖史
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
TEL 03-3787-1151(代表)
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

コロナ禍の下で

顎顔面口腔外科 診療科長 代田 達夫

新型コロナウイルス感染の拡大を受けて、厚生労働省から「新しい生活様式」の実践例が提示されています。わかりやすく言えば、このウイルスの感染拡大を防止するための生活指針であり、人との間隔を最低でも1m以上あけるソーシャルディスタンスやマスク着用といった「1人ひとりの感染対策」、密集・密接・密閉の3密の回避、手洗いや咳エチケットの徹底などの「日常生活上での感染対策」、そしてテレワークやWeb会議などの「仕事での感染対策」の大きく3つで示されています。専門家会議では早期診断から重症化予防までの治療法が確立されるか、効果的なワクチンが開発されるまでは、この新しい生活様式を続ける必要があるとしています。したがって、この状況は長期に及ぶものと予想されますが、私たちは新しい生活様式がもたらす影響についても目を向けておく必要があるかと思えます。

現在、多くの病院が病棟での面会を禁止しています。当院でも口腔外科手術を受け

た患者さんが入院されていますが、面会は原則お断りとしています。これは院内感染を防止するためには止むを得ない措置と考えていますが、患者さんやそのご家族には大きな心理的負担となっていることも事実です。

本来、私たちは、「人とのつながり」がなければ心の健康や幸せを保つことが出来ません。人とのつながりこそが患者さんの心の健康を支え、回復を促すために必要です。

新しい生活様式が求められている中では、当院としても新型コロナウイルスの感染予防対策を徹底しなくてはなりません。しかし、同時に入院されている患者さんの孤独感や不安な心を理解し、寄り添うことで、コロナ禍にある患者さんやご家族の心理的な負担が少しでも軽減されるよう努めて行きたいと考えています。



- P1 巻頭言 コロナ禍の下で
- P2 診療科紹介 顎顔面口腔外科
- P3 診療の流れ 内科クリニック
- P4 昭和大学公開講座に関して 他
編集後記

記事見出しの色分けをいたしました。

■ 患者さん向け、 ■ 医療機関向け、 ■ お知らせなど

診療科紹介：顎顔面口腔外科

顎顔面口腔外科 講師 葭葉 清香

顎顔面口腔外科では、一般の歯科医院では対応が難しい、口腔領域に生じるさまざまな疾患に対して診察と治療を行っています。対象としている疾患は、埋伏智歯・有病者の抜歯・顔面外傷・口腔粘膜疾患・良性腫瘍・悪性腫瘍・唾液腺疾患と多岐に渡ります。

私たちの診療科は、顎変形症と口唇口蓋裂などの先天異常の治療に関し、多くの症例数を有しており、これらの疾患の総合的な治療は連携診療科とのチーム医療で進めています。また、新しい技術の応用やより正確で安全な手術手技の確立に対しても積極的に取り組んでいます。私たちは手術ナビゲーションシステム（術者と手術器具の3次元的な位置関係を正確にリアルタイムに表示する装置）を導入し、顎矯正手術、顎骨腫瘍切除手術などに適用しています。術前の手術方法の検討とナビゲーションを組み合わせることによって、より精度の高い確実な手術を行うことが可能となります。さらに、口腔癌の手術後に生じた顎骨を含めた大きな組織欠損に対するインプラント治療、顕微鏡下手術への取り組みも行っております。

顎口腔領域に異常をきたしますと、食べる、会話をする、飲み込むなどの機能が障害されることがあります。また、顔の変形や歯の欠損により審美性が損なわれますと、患者さんは精神にも大きな苦痛を受けることになります。私たちは、疾患を治療するだけでなく、口腔・顎・顔面の形態や機能を回復させて、患者さんの心身の健康をサポートすることが大切であると考えています。今後も医局員一同、技術の向上に修練を重ねながら、

地域医療機関や院内各診療科と連携し、最善の医療が提供できるように努めて参ります。



写真1 ナビゲーションシステムを用いた手術の様子



写真2 顕微鏡下手術の様子



写真3 外来での埋伏智歯抜歯手術の様子

診療の流れ：内科クリニック

内科クリニック 科長 木庭 新治

歯科病院における唯一の医科診療科として外来にて広範囲な疾病領域に対応しています。科長の木庭は高血圧・高脂血症・糖尿病・循環器疾患・高齢者医療を中心に内科一般、安藤医師は呼吸器・アレルギー疾患を中心として、井上・橘・酒井各客員教授が専門的視点から総合的に診療を行っています。

高血圧、糖尿病、脂質異常症に対しては、歯科診療の状況を把握した上で食事・運動・生活指導・薬物療法のアドヒアランス向上など患者教育を重視した生活習慣病療養計画書を発行し、医師・看護師の多職種による包括的管理を行っています。糖尿病や高コレステロール血症に対する在宅自己注射を含む薬物管理を行っています。

睡眠時無呼吸症候群(SAS)に対して夜間の陽圧換気療法(CPAP)を受けている患者さんが20%超おられます。初診時は在宅での睡眠簡易検査を行い、SASを認めた場合は在宅でのポリソムノグラフィー(PSG)または昭和大学東病院睡眠医療センターでの1泊PSG入院検査で精査診断しています。歯ぎしりと口腔機能の評価や口腔内装置の作成は口腔リハビリテーション科、補綴歯科、顎関節症治療科に依頼しております。

禁煙治療、重症気管支喘息に対する生物学的製剤の投与やアレルギー免疫療法（舌下免疫療法）、慢性呼吸不全や慢性心不全に対する在宅酸素療法を行なっています。

歯科麻酔科、外科系診療科と連携し、処置前・術前後の内科管理をプライマリケア重視の下行っています。歯科診療時の高血圧で受診される患者さんが多く、その中にはSASやさ

まざまな疾患が発見される例が多いです。

内科の専門診療や内科以外の診療、内視鏡検査、放射線画像検査（CT、MRI、核医学）や超音波検査など専門的診療は昭和大学病院でスムーズに予約できる体制が整っています。

予防医学を重視し、インフルエンザや肺炎球菌に対するワクチン接種を行なっています。

昭和大学病院循環器内科、呼吸器内科の医師のサポートのもと安心・安全な診療体制を維持しています。「至誠一貫」の建学の精神を基盤に、重複疾患を有する患者さんが安心して歯科治療が受けられるように、口腔および頭頸部領域の心身症にも配慮して対応しています。お悩みの症状につきましてはお気軽にご相談ください。



内科クリニック スタッフ

お知らせ

●令和2年度（第23回）昭和大学公開講座に関して

今年度開催を予定していた令和2年度（第23回）昭和大学公開講座については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により集合形式での開催は行わず、当院ホームページに講演動画を掲載する形でのWeb開催とさせていただきます。

現在、開催に向けて準備を進めております。詳細が決まりましたら当院ホームページにてお知らせいたします。

●当院の自衛消防隊が表彰されました

令和2年11月13日（金）、当院の自衛消防隊が東京消防庁より表彰されました。

当院では院内の防災訓練の実施や自衛消防活動審査会への出場など、防火・防災対策に取り組んでおります。今後も患者さんの安全と地域の防災に努めて参ります。



●年末年始の外来診療休診日のお知らせ

当院では、年末年始の外来診療は下記の期間休診しますので、ご了承くださいませようお願いいたします。

来院の皆さまにはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、12月28日（月）と1月4日（月）は、通常どおり診療いたします。

休診日 2020年12月29日（火）～2021年1月3日（日）

事務課管理係

編集後記

季節は一気に秋から冬へ変わっていきますね。朝晩が寒くなり、服装に迷う日も出てきました。本当に一年早いですね。気持ちも街の雰囲気も年末の様相になって、あっという間にお正月になりそうです。忙しい時期になります。

皆様も体調管理に気をつけながらお過ごしください。

(S.Y)

